

みどりの①プラザ企画展  
「子どもと公園と遊び場の変遷展」 関連講座



日比谷公園 

## 「ネイチャースタディ」から 「現代の遊び場」まで

9/23 (土・祝)

10:00 ~ 12:00


福井県立大学学長

講師：進士 五十八

子どもたちが公園で遊ぶ。日本の子どもたちはいつから公園で遊び始めたのでしょうか？ 日比谷公園では大正11年ころから先駆的に「ネイチャースタディ」=環境教育に取り組んでいました。その後、子どもの遊びを人的にサポートする「公園の児童指導」は消滅し、かわりに遊具など施設設置方式が主流となりましたが、近年では世田谷区の羽根木公園内に日本発の冒険遊び場（アドベンチャープレイグラウンド）が発生、各所にプレイパークが出来るなど、遊び方も多種多様に变化を遂げています。先人たちが取り組んできた子どもの遊び場づくり、その変遷をたどります。

受講料：一般¥1,550、大学生¥1,030、中高生¥520

※本講座は造園 CPD 制度認定講座です。  
受講頂くと2単位の付与があります。

会場：日比谷公園内  
緑と水の市民カレッジ2F 

定員：30名

お問合せ・お申込み

緑と水の市民カレッジ事務局

TEL：03-5532-1306

FAX：03-5532-1307

緑と水の市民カレッジ

検索

<http://www.tokyo-park.or.jp/college/index.html>